

平成24年12月17日
学校教育政策課

「学校全体の教育力向上に関する指針」の策定

1 策定の目的

- ・学校に期待される役割の高度化・複雑化、大量退職時代の到来、多忙化等の課題解決に向けて、校内での研修を充実させていくことが求められている。
- ・校内研修の必要性や方法の指針を示し、県下全校で校内研修を充実させ、「福井型18年教育」を推進する。
- ・校種毎に策定し、校種による違いに対応する。

2 教育力向上推進会議の開催

- ・指針を全学校で活用できるように、見出しの会議を開催する。
- ・会議の概要
 - ①日時 嶺北会場 12月26日(水) 午後 県立大学福井キャンパス
嶺南会場 12月27日(木) 午後 県立大学小浜キャンパス
 - ②内容 講演「教員の資質能力向上について」福井大学教授 松木健一
「学校全体の教育力向上に関する指針」の活用方法の説明
 - ③参加者 各学校1名、各市町教育委員会1名
研究主任や教務主任等、学校の中心になって校内研修を推進する教諭
 - ④その他 自校教員分のリーフレットを持ち帰る

※平成24年11月15日付け、学教政第374号で通知済

3 指針の内容（中学校教員版・一部）

- ・これからの教員に求められる資質能力
- ・教員の学びの場は学校現場
- ・学び続ける教員を育む、学校全体の教育力を向上させる仕組み
- ・「学び続ける教員」としてのチェックリスト
- ・授業研究の進め方
- ・授業研究Q&A
- ・授業研究の中に生徒指導の視点を取り入れることも重要
- ・研修の質を高めるワンポイントアドバイス